

# 名小児童、別府小へ

## 教育長行政報告

教育長 大野 敏光

### 卒業・入学

卒業式の季節を迎え、小学校は46人が卒業し、28人が入学予定で児童総数は197人。

中学校は、51人が卒業し、43人が入学予定で生徒総数129人の見込み。

また名野川小は、来年度全児童が別府小へ転校するため休校となる。現在、保護者を中心に2月27日に実行委員会を立ち上げ、記念誌や閉校の行事を計画中。

### 宇宙桜

東日本大震災から1年が経ち、各小、中学校では復興支援の気持ちを込め、義援金を募集したり、気持ちいをメッセージや手紙に託し、被災地に送るとともに、本町で育った宇宙桜の苗を送り植えてもらうことも計画し、気仙沼市立大島小、中学校との復興を応援する交流を進めている。

### 学校再編

学校再編への取り組みは、1月に名野川地区3カ所、2月に大崎地区3カ所で説明会を行い、延べ11回になった。

### 子育て支援センター

子育て支援センターは社会福祉協議会へ業務委託してきたが、24年度から取りやめ、教育委員会で業務を行う。

福祉関係部署と連携を強化しながら、子育てをする親への支援と、子ども達の健やかな成長を応援していく。

### 金子直吉

旧名野川村で生まれ、日本の財界で活躍した、金子直吉翁の資料室が、しもの郷1階に完成した。

今後関係する資料を幅広く集めたい。

### 民俗資料保存

農村文化が衰退する中、貴重な民俗資料保存のため、旧安居小学校校舎内に民俗資料保管室を整えた。今後、資料収集と保存に努めていく。

### 池川中耐震

23年度補正予算（繰越事業）に池川中学校耐震補強と校舎改修工事費1億9千万円と、当初予算に池川スポーツセンター耐震補強工事6千878万円を計上。

### 2校体制へ準備

中学校2校体制への準備関連予算1千200万円、教育版地域アクションプランのための事業費410万円などを計上。



名小児童が4月から通う別府小

# 活力あるまちづくり

## 大石弘秋町長 行政報告

### 三坂道路の完成

国交省四国整備局が、急カーブ区間の回避、積雪や凍結による通行障害などの解消を目的に整備していた国道33号線三坂道路が、久万高原町から松山市久谷町まで7.6kmが自動車専用道路として3月17日午後1時から全面開通した。

防災機能、通行障害の減少、観光の活性化や緊急医療活動の円滑化が期待されている。

松山市と高知市の中心に位置する本町の交通はゆに及ばず、産業の発展、四季を通じた観光の活性化を期待する。

### 当初予算編成

合併初年度から数えて8年度目となる24年度を「新しいまちづくりの実践、実行元年」とすべく「自然と共生した魅力と活力のあるまちづくり」を力強く進める施策を意欲的に展開した。

一般会計予算総額は対前年度比で108%増、額に

して6億7千万円増の68億6千800万円余りとなった。

これまでの7年は、旧3町の抱えていた課題の解決や、新しいまちづくりに取り組むための調整などを中心に行政を進めてきた。

人口減少が進み、様々な問題が生じるなかで対症療法的な守りの施策だけでは衰退は避けられず、持続可能な地域づくりは不可能である。

「魅力と活力のあるまちづくり」の実現には、変化する社会の中で問題

解決にとどまることなく、巡って来た機会や地域の強みを活かし、魅力や活力を創造することが必要だ。

町全体の浮揚、活性化につながる議論を促し、俯瞰したうえで、集落、団体や人、産業など、それぞれが持つ特徴や個性を活かして魅力と活力を創造する施策を、責任ある決断とリーダーシップを持って実践、実行し、町の活性化を図らなければならない。



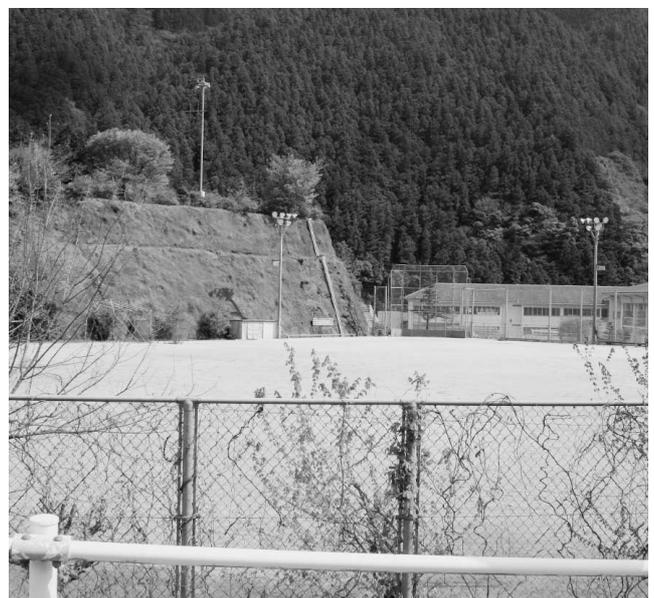
新庁舎予定地（大崎保育所）

### 施設整備

デイサービスセンター「とちの木園」および「岩丸荘」の施設では賄いきれなくなったサービスの確保を目指した整備、池川スポーツセンターの改修、439市の新築、長者地区集落活動センターの設置など、まちづくりに欠かすことのできない施設づくりの実施。

### 新庁舎の建設

建設候補地の地盤調査



新庁舎予定地（吾川中グラウンド）

### 地域福祉施設

森地域への福祉施設の整備は、視察研修などを実施し検討を深めたい。

### 産業振興

農産物等集荷支援事業の充実、農産物の流通促進、農地の利用状況調査、耕作放棄の実態の把握、抑制に努め、併せて体験農園などの活用を検討し、

などを行い、適格性を検討し、決定したい。

# 自然と共生した

町産木材の生産、流通、利用拡大を図り、森林組合、事業協同組合などの連携を深め、林業、木材産業の振興に努め、町道、林業整備を推進する。

## 観光

商工会に委託して、仁淀川町観光協会の設立を計画するとともに、町内の公園、景勝地の整備を実施し、また観光センターなどの運営を直営で行う特別会計経費を計上。

## 生活環境の整備

生活道の整備充実に1億円を計上し、土居簡易水道の改良工事を計画している。また町内にヘリポート設置、2カ所分、3千万円を計上。

## 教育

本町の特性を活かした学校づくりおよび給食費の軽減、地域食材の活用など、食育の推進を図る措置を講じている。

中学校の再編は南北2校とし、25年4月の開校

に向けて準備を行い、新しい町の新しい学校づくりの視点で、保護者の一時的、臨時的負担を軽減できるような行政として、議論を担保・対応できる一定予算を、開校準備経費と併せて計上。

## 財政の健全化策

合併特例債を活用して合併振興基金へ2億円積み立てるほか、緑資源幹線林道受益者負担金1億4千500万円の繰上げ納付を行い、将来の負担を軽減するよう計画。

## その他の施策

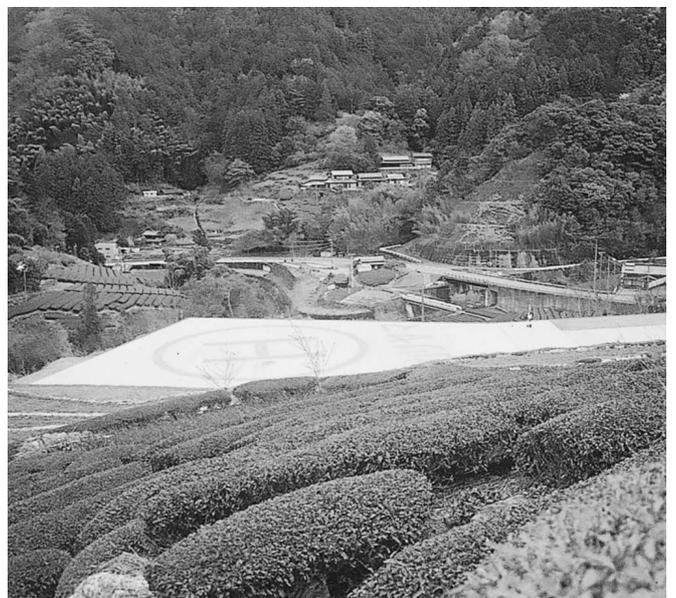
保育料の軽減策や中学校卒業までの医療費無料化、町内から高校に通学する場合の通学費助成なども継続する。

## ソニアの状況

24年1月30日に臨時株主総会を開催し、有形固定資産のうち、森林組合と共有地、用居に所有している山林および保安林以外の資産を仁淀川林産協同組合に譲渡すると決



二ノ滝地区ヘリポート



狩山地区ヘリポート

## 介護保険事業

第4期介護保険計画が本年度末で満了するため、24年度から26年度までの3カ年を計画期間とする第5期介護保険事業計画を策定した。

計画では一定の介護保険サービスの増加を想定しているが、3年間の保険料基準額は、準備基金取崩などの対応で増額することなく、現行の4千600円に据置く。

定した。国庫補助金を活用し整備した木材乾燥施設などは、国、県の承認を得て、協同組合への事業継承を行うこととし、無償で譲渡となった。その他は、専門家の鑑定結果を基に約7千万円で有償譲渡となり、不動産登記などの手続きを進めている。